

認知症初期集中支援チームについて

【目的】

認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、認知症の人やその家族に初期に訪問等で直接関わり、早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築する。
 （「初期」とは認知症初期」と「対応初期」の意味を持ちます）

【対象】

- ① 40 歳以上で、在宅で生活し、認知症（疑いも）の人で、適切な医療や介護サービスに結びついていない人
- ② 医療や介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため対応が困難な人

【体制】

- ・ 直営とし、市地域包括ケア課が事務を担当
- ・ 6 か月間をめぐりに集中的に関わり、医療や介護サービスにつなぐ
- ・ チーム員による身体的ケア、環境整備等の直接支援を行うことが可能
- ・ 力を尽くしても受診できないような場合はチーム支援が有効

【チーム員】

① 認知症サポート医

いしかり脳神経外科クリニック 橋本透先生
 石狩ファミリアホスピタル 河合剛多先生

各場面で必要に応じ専門職に助言、本人への診察、訪問、主治医との連絡

② 医療職と介護・福祉職のペア

地域包括ケア課、地域包括支援センター
 認知症地域支援推進員、精神科病院看護職・福祉職

支援対象者に合った機関・職種・人員を検討し、2 名以上でチーム員を構成

【認知症初期集中支援チーム検討委員会】

- ・ 年 1 回開催、石狩市介護保険事業運営推進協議会をあてる
- ・ 協議事項：チーム運営状況の報告、改善策の検討など

令和 2 年度 認知症初期集中支援チーム実績

	(年度新規)	相談受理機関			
		南	北	厚田	浜益
相談件数	2 件	1 件	1 件	なし	なし
対象要件	医療や介護サービスに結びついていない	1 件 ※①	1 件 ※②		
	医療や介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため対応が困難				
チーム支援件数	なし	なし	なし	なし	なし
前年度からの継続	なし	なし	なし	なし	なし

※①：地域包括支援センターの総合相談で対応し、介護サービスにつながった。

※②：市と地域包括支援センターとの協議により、チームで対応することが適切と判断したが、家族の希望によりセンターの総合相談で支援を継続している。